

和歌山病院での実習を終えて



櫻井 太佑

和歌山病院での実習はとても内容の濃いものでした。駿田先生による結核の講義は結核を基本的なことから学び、きっちり根本を理解することができたので記憶にしっかり定着するように学ぶことができました。N95 マスクも装着させてもらって初めての貴重な体験となりました。また結核病棟も見学することもできよかったです。小野先生には肺結核の画像について教えていただき、結核について今回の実習で体系的に学ぶことができたと思います。柳本先生には酸素療法などを器具を交えて教えてくださり、実際見て学習することで学びが深まりました。南方院長先生のレントゲン写真の正常画像の見方についての講義はわかりやすく、シンプルな上にしっかりと根本から理解することができるので感動しました。これからポリクリや国試の勉強の時などに習ったことをしっかり実践して考え、レントゲン写真の苦手意識を克服していこうと思います。そのほかにも肺の区域なんて覚えてもすぐわすれてしまうだろうと思っていた僕でしたが、ブロンコ体操を伝授していただき、しっかり理解して何回も体操を反復して体に染み込ませることで一生忘れないであろうと思えるようにまでなりました。

二日間という短い期間ではありましたがとても内容の濃い二日間でした。夕食もご馳走になったりして本当に楽しかったです。南方院長をはじめ先生方、和歌山病院の職員の方々どうもありがとうございました。